

各団体における取組

【埼玉県消費者団体連絡会】

○ 令和3年度の取組

- ・ 令和4年2月に予定した、埼玉県食品安全局と埼玉県消費者団体との懇談会はコロナ禍のため、直前に延期とした。(令和4年5月に予定)。
- ・ 「2021 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」は中止。

○ 令和4年度の取組計画

- ・ 令和3年度分の埼玉県食品衛生安全局と消費者団体の懇談会を埼玉県消費者団体連絡会を中心に5月31日に開催。埼玉県食品衛生監視指導計画の執行状況や今年度の計画のポイント、鳥インフルエンザや豚熱について、S-GAP 推進における現状と課題について懇談予定。令和4年度分としては、令和5年2月に開催予定。

【埼玉県生活協同組合連合会】

○ 令和3年度の取組

- ・ 例年9月に開催している埼玉県生協連とJA 全農さいたま共催の「体験稲刈り&田んぼの生きもの調査」は引き続き新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。JA 埼玉県女性組織協議会と会員生協組合員の交流の場「第27回早春交流会」は2月に完全オンライン開催し、フードバンクに関連する取り組みを学習し、グループ交流しました。コロナ禍のため、食にまつわる実習などは行っていません。
- ・ 会員生協による生産者との交流・学習はオンラインでの開催に移行して、これまで以上に幅広く、また遠方の生産者とつながって、学習、交流したところもありました。一部、実開催を再開した企画もありました。
- ・ 彩の国食と農林業ドリームフェスタは中止。

○ 令和4年度の取組計画

- ・ 会員生協による親子農業体験、県内生産者との交流・学習の実施。
- ・ 会員生協による地場産農産物を使った郷土料理を伝承する取り組みを通しての地域とのつながりづくり。
- ・ JA との協同組合間連携によるお互いを知る取り組みの深化、農業体験、地産地消の取り組み、交流など。
*いずれも、社会状況をみながら、開催できる方策を模索しながらすすめています。

【新日本婦人の会埼玉県本部】

○ 令和3年度の取組

- ・ 1990年から「産直運動」を実施。「食べて、学んで、美しく」をスローガンに30年間にわたり多様な取り組みを展開してきました。
- ・ 生産者との交流を大切に、田植えや稲刈り体験などをおこなっています。体験だけでなく、生産者を訪ねて直接お話を聞いたり、郷土料理を大切にする視点を取り入れてきました。大豆トラスト運動での味噌づくりも行いました。
- ・ 食の安全に関わる農薬・添加物、遺伝子組み換え、ゲノム編集、自然エネルギー、日本の食料・農業問題なども学習しました。



○ 令和4年度の取組計画

- ・ 田植えや稲刈りの農作業体験の継続した実施。
- ・ 埼玉県産米の消費拡大に関する学習会の実施。
- ・ 「産直ツアー」の実施検討。県産米や県産農産物を使った手づくり体験会や料理会を県内各地で実施検討。
- ・ 産直品を美味しく食べる料理グループの実施を検討。
- ・ 「食」の安全や「食料自給率の引き上げ」、SDGs、自然エネルギーに関する学習会などの開催。

【公益社団法人埼玉県栄養士会】

○ 令和3年度の取組

- ・ 市民健康栄養講座（講話、骨密度測定、栄養・食生活相談）
- ・ 介護予防における栄養講座と調理実習
- ・ 食事バランスガイドの推進（通年）
- ・ 地産地消の推進
- ・ 埼玉県牛乳普及協会 第41回牛乳・乳製品料理コンクールへの協力
- ・ 障害者施設における栄養講座と調理実施

○ 令和4年度の取組計画

- ・ 市民健康栄養講座（講話、骨密度測定、栄養・食生活相談）
- ・ 埼玉県米消費拡大推進協議会事業への協力
- ・ 彩の国米まつりにおいて食生活相談・骨密度測定
- ・ 介護予防における栄養講座と調理実習
- ・ 食事バランスガイドの推進（通年）
- ・ 栄養の日イベント（8月4日）栄養週間（県民の栄養に対する興味喚起を促す）
- ・ 地産地消の推進
- ・ 埼玉県牛乳普及協会 第42回牛乳・乳製品料理コンクールへの協力
- ・ 障害者施設における栄養講座と調理実施



【一般社団法人埼玉県調理師会】

○ 令和3年度の取組

- ・ 県民の健康づくりのために食生活の改善、食品衛生の推進、安心安全な食品の推進と会員の資質向上、調理師技術、健康食育の推進・啓発。
- ・ 地産地消を会員に協力依頼。
- ・ 健康づくり協力店の推進。
- ・ 埼玉県鮭組合…埼玉県産野菜すしの勉強会と料理教室（6月・9月）
寿司割烹 山水にて

○ 令和4年度の取組計画

- ・ 県民の健康づくりのために食生活の改善、食品衛生の推進、安心安全な食品の推進と会員の資質向上、調理師技術、健康食育の推進・啓発。
- ・ 地産地消を会員に協力依頼。
- ・ 健康づくり協力店の推進。
- ・ 調理の工夫及び研究。
- ・ 調理師による県民の食生活の向上に関する条例の実施。
- ・ （公社）日本調理師会主催の全国こども愛情弁当コンテストへの協力
- ・ コロナウイルス感染拡大防止の対応
- ・ 埼玉県鮭組合…埼玉県産野菜すしのデモンストレーション（9月か10月頃）
- ・ 埼玉県調理師大会に於いて埼玉県産野菜のアイデア料理等を作成・展示（11月）
- ・ 会員増員に向けての取り組み

【埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会】

○ 令和3年度の取組

- ・ 食育月間(毎年6月)、食育の日(毎月19日)の普及啓発
- ・ 県内産の米を使った県民向けの料理教室を開催
米料理教室は、29市町30回会場(659名)で実施
- ・ 地域の行事食、伝統食の継承
- ・ コロナ禍で地産地消の啓発としての県の米をはじめ農産物を利用したイベントでの試食づくり、宣伝活動の中止
- ・ 地場産の食材を使ったコバトン健康メニュー(塩分3g未満、野菜120g以上、カロリー500～700カロリーまで)の新メニュー開発と既存メニューの県民への普及(県内18市町で実施)、(県のホームページに随時掲載し、クックパッドにも掲載)
- ・ 各市町の特産品を使った県内各地のレシピ集の作成(令和4年2月に発行)

○ 令和4年度取組計画

- ・ 食育月間(毎年6月)、食育の日(毎月19日)の普及啓発
- ・ 県内産の米を使った県民向けの料理教室を開催
米料理教室は、30市町で実施予定
- ・ 地域の行事食、伝統食の継承
- ・ 地産地消の啓発として、県産米をはじめとした農産物を利用したイベントでの試食づくり、宣伝活動
- ・ 地場産の食材を使った埼玉県コバトン健康メニュー(塩分3g未満、野菜120g以上、カロリー500～700カロリーまで)の新メニュー開発と既存メニューの県民への普及(県内20市町で実施)(県のホームページに随時掲載、クックパッドにも掲載)

【埼玉県農業協同組合中央会】

○ 令和3年度の取組

実施時期	取組	実施内容
5～7月	お米消費拡大キャンペーンの実施	県内の全JA直売所で県産米の割引キャンペーンを実施し、県産米の消費拡大を喚起。
6月2日、11日	健康で風土に合った食生活研修会	県産農産物を使用した調理実習。
8月	コメで勝つ!「埼玉米応援キャンペーン」の実施	量販店や県内各JA、JA直売所で販売されている埼玉県産米の購入者に対し、プレゼントを実施。
8月31日	広告掲載(埼玉新聞)	野菜の日にちなんで、8月31日付埼玉新聞に特集記事及び広告を掲載。
11月6日～23日(弁当の販売期間)	埼玉県150周年記念「地産地消弁当」の企画	埼玉県と女子栄養大学、株式会社ヤオコーと共同で、県産農産物をふんだんに使用した弁当を企画。
11月15日	埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集い	県産農畜産物のPR。
11月19日～21日	ニッポン全国物産展2021	東京・池袋サンシャインシティにて、埼玉県農協青年部協議会出展による、県産農産物の販売を実施。
9月～12月	新米キャンペーン	①県産新米の購入者に対し、プレゼントを実施。 ②浦和レッズ選手の起用やNACK5を活用して、県産米のPR。
3月5日～5月15日	JAグループさいたま6次産業化商品販売会	県内JAグループの6次産業化活性化を目的に、埼玉県内JAおよびJA女性部等による6次産業化商品を期間限定で埼玉県農林公園内農産物直売所にて販売。
以下、周年	JAグループさいたま「地産地消・みんなの良い食プロジェクト」運動	「よい食」とは何かを、生産者とJAグループ、消費者のみんなで一緒になって考え、行動していく運動。栄養バランスや適性摂取量などの観点から食への関心を高め、調理や食材への興味を喚起。
	生産履歴記帳運動	各種研修会を開催することによる、生産履歴記帳運動の充実強化。
	JA農産物直売所PR	地産地消の実践によるJA、地域農業の理解促進、消費者のニーズ把握、HACCP理解促進のためのJA農産物直売所の研修会の開催。
	県産農産物のメディア等を通じたPR	①FM NACK5にて番組「彩の国トレたてモーニング」放送。(周年) ②JAグループさいたまホームページ「みらの」にて各種情

		報の発信。(周年) ③消費者向け情報誌「みらの」発行。(7月、11月、3月発行) ④JAグループアプリ「JA旬みつけ!」にて、県産農産物・直売所のPR
--	--	---

※彩の国食と農林業の祭典「2021 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

○ 令和4年度取組計画

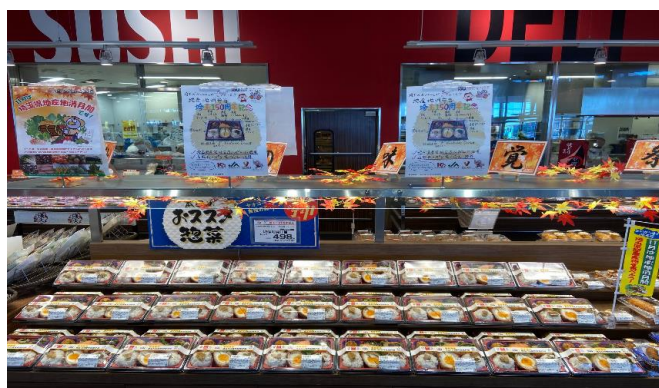
実施時期	取組	実施内容
6月14日、22日	健康で風土に合った食生活研修会	県産農産物を使用した調理実習。
8月31日	広告掲載(埼玉新聞)	野菜の日にちなんで、8月31日付埼玉新聞に特集記事及び広告を掲載。
11月19～20日	彩の国食と農林業の祭典「2022 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」の開催	会場において県産農産物のPR。
11月(予定)	埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集い	県産農畜産物のPR。
9月～12月	新米キャンペーン	①県産新米の購入者に対し、プレゼントを実施。 ②浦和レッズ選手の起用やNACK5を活用して、県産米のPR。
(時期未定)	直売所キャンペーン	埼玉県JA農産物直売所におけるキャンペーンの実施
以下 周年	JAグループさいたま「地産地消・みんなのいい食プロジェクト」運動	「よい食」とは何かを、生産者とJAグループ、消費者のみんなと一緒に考えて、行動していく運動。栄養バランスや適性摂取量などの観点から食への関心を高め、調理や食材への興味を喚起。
	生産履歴記帳運動	各種研修会を開催することによる、生産履歴記帳運動の充実強化。
	JA農産物直売所PR	地産地消の実践によるJA、地域農業の理解促進、消費者のニーズ把握、HACCP理解促進のためのJA農産物直売所の研修会の開催。
	県産農産物のメディア等を通じたPR	①FM NACK5にて番組「彩の国トレたてモーニング」放送。(周年) ②JAグループさいたまホームページ「みらの」にて各種情報の発信。(周年) ③消費者向け情報誌「みらの」発行。(7月、11月、3月発行)

	各種PR資材の作成	①さいたま農産物かわら版の作成。（量販店イベント、各種PRイベントにて配布） ②販促用腰巻の作成。（量販店イベント、各種PRイベントにて配布） ③埼玉県農産物PRパンフレット等の作成。
--	-----------	--

【全国農業協同組合連合会埼玉県本部】

○ 令和3年度の取組

- ・ 全中・全農版生産履歴管理システムの普及促進
- ・ 各種キャンペーン協議会等と連携したホームページ、ラジオ、テレビ、SNS、JRトレインチャンネル、料理・食材雑誌にて農畜産物の情報提供。調味料メーカーとのメニュー共同開発、販促資材等の作成およびPR活動
- ・ 学校給食会への県産農畜産物の安定供給と連携強化
- ・ JA農産物直売所の運営改善支援
- ・ 埼玉県産春野菜大田市場PRイベント(4月20日)
- ・ スーパー・量販店への販促強化及び県内農産物の地域内流通並びに彩のかがやき、彩のきずな、春夏野菜、秋冬野菜、彩の国黒豚の販売
- ・ 「埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集い」にて県産農畜産物PR(11月15日 さいたま市 パレスホテル大宮)
- ・ 埼玉県産秋冬野菜大田市場PRイベント(11月19日)
- ・ ヤオコー埼玉県 150周年記念弁当への食材提供(11月)



- ・ JAグループさいたま農産物商談会 2021にて県産農畜産物のPR及び販売促進(10月1日～11月30日までオンライン開催)
- ・ 農と食のオンライン展示・商談会 in SAITAMA 2022及び農業発！新商品お披露目会にて県産農畜産物のPR及び販売促進

- (令和3年11月24日～令和4年2月25日までオンライン開催)
- ・ JAグループ国産農畜産物商談会にて県産農畜産物のPR及び販売促進
(令和4年2月1日～2日:東京都立産業貿易センター浜松町館、
令和4年2月1日～3月31日までオンライン開催)
- ・ 埼玉県鉢物展示商談会WEB開催(令和4年3月7日～3月25日)

○ 令和4年度の取組計画

- ・ 全中・全農版生産履歴管理システムの普及促進
- ・ 各種キャンペーン協議会等と連携したホームページ、ラジオ、テレビ、SNS、JRトレインチャンネル、料理・食材雑誌にて農畜産物の情報提供。調味料メーカーとのメニュー共同開発、販促資材等の作成およびPR活動。
- ・ 学校給食会への県産農畜産物の安定供給と連携強化
- ・ JA農産物直売所の運営改善支援
- ・ 埼玉県産春野菜大田市場PRイベント(4月19日)



- ・ 埼玉県産秋冬野菜大田市場PRイベントの検討
- ・ スーパー・量販店への販促強化及び県内農産物の地域内流通並びに彩のかがやき、彩のきずな、春夏野菜、秋冬野菜、彩の国黒豚試食販売等
- ・ JAグループさいたま農畜産物商談会 2022にて県産農畜産物のPR及び販売促進
(10月3日～11月25日までオンライン開催)
- ・ 埼玉の切花・枝物展示会(令和4年11月28日～12月2日予定)大田市場 花き棟
- ・ 2022 彩の国食と農林業の祭典(ドリームフェスタ)にて
県産農畜産物販売促進(11月19日・20日 行田市 古代蓮の里)
- ・ 「埼玉県産地産地消ブランド農産物を味わう集い」にて県産農畜産物PR
(11月29日 さいたま市 パレスホテル大宮)
- ・ 埼玉県農商工連携フェア(農と食のオンライン展示・商談会 in SAITAMA 2023)にて
県産農畜産物のPR及び販売促進(予定)
- ・ JAグループ国産農畜産物商談会にて県産農畜産物のPR及び販売促進
(令和5年2月1日～2日:東京都立産業貿易センター浜松町館)
- ・ 埼玉県鉢物展示商談会(令和5年3月上旬)

【埼玉県森林組合連合会】

○ 令和3年度の取組

- ・ 県産木材認証センターの運営（通年）
- ・ 合法木材製品の利用促進
- ・ 木育推進活動(令和4年3月 飯能市内9か所の保育所へ西川材を使用した大型積み木等を寄贈)

○ 令和4年度の取組計画

- ・ 彩の国食と農林業の祭典の開催
（「2022 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」11月）
- ・ 県産木材のPR活動（通年 県内全域）
- ・ 県産木材認証センターの運営（通年）
- ・ 合法木材製品の利用促進
- ・ 木育推進活動

【埼玉県食品工業協会】

○ 令和3年度の取組

県産農産物を利用した加工食品の開発・販路拡大・広報活動

- ・ 埼玉県産農産物の使用推進
醤油の原料の小麦はほぼ埼玉県産
- ・ 県事業を活用し、県産野菜を使用した新しい漬物の開発
- ・ 各酒造会社の使用する米、さけ武蔵、彩のかがやき等
県産酒造用好適米 山田錦の生産（加須市）
加須市特産日本酒（加須の舞）釜屋製造
- ・ Made in Saitama 優良加工食品大賞 2021 への応募 大賞他受賞
埼玉県醤油工業協同組合会員（弓削多醤油）（時の鐘醤油他）
埼玉県生麺業協同組合会員（栗田デリカ）
埼玉県酒造組合会員（株釜屋）
- ・ 埼玉県物産観光協会主催
埼玉県新商品 AWARD 2021 への出品 入賞
大賞受賞（埼玉県酒造組合 埼玉地酒呑み比べセット）
- ・ 各種フェア、イベントに出展
「全国日本酒フェア」オンライン開催（10/30）
埼玉の日本酒をPR
- ・ e スポーツ世界大会（12/19 埼玉スーパーアリーナ）への出展
埼玉県産酒のPR

○ 令和4年度の取組計画

- ・ ふるさと認証食品制度の活用、特にプレミアムの推進
- ・ 県産農産物を利用した加工食品の開発・販路拡大・広報活動

- ・Made in Saitama 優良加工食品大賞 2022 への応募
- ・埼玉県物産観光協会主催
 - 埼玉県新商品 AWARD 2022への出品
- ・県産農産物の契約栽培の推進
- ・各種フェア、イベントに積極出展(リアル開催にて実施予定9
 全国日本酒フェアへの出展(県産日本酒の PR)6/17~18
 埼玉 34 酒蔵大試飲会の実施(9/14 東京交通会館)
 埼玉地酒呑み比べセットの企画、販売
- (1 合アルミ缶による 24 酒蔵の日本酒のセット販売、試飲会実施)
- ・積極的な情報発信
- ・大宮氷川神社にて 埼玉酒祭り開催予定 10/30
 県産日本酒、地ビール、ワインを含めた お酒の試飲会を実施予定

【一般社団法人埼玉県青果市場連合会】

○ 令和 3 年度の取組

- ・ 会報誌への資料掲載と取組に向けた P R。 (随時)
- ・ 県産野菜の量販店での販売促進。
- ・ 『行田在来えだまめ』の県内流通(販売：10 月)
 行田市及び熊谷市妻沼地区で生産される甘味が強く特有の風味をもつ「行田在来えだまめ」の契約取引を平成 26 年度から実施。
 令和 3 年度の取引は県内 5 市場を通じて行われ、約 1.5 t を県内の量販店等で販売。
- ・ 『丸系八つ頭』の県内流通(販売：11~12 月)
 丸形で皮が剥きやすく、甘みがあってホクホクした食感を持つ「丸系八つ頭」の契約取引を平成 27 年度から実施。
 令和 3 年度の取引は県内 4 市場を通じて行われ、約 5.3 t を県内の量販店等で販売。
- ・ 『べにたま』について
 埼玉県が育成した市場出荷向けのいちご新品種「べにたま」について、令和 3 年度から試験的に取引を開始。
 令和 3 年度は、県内 2 市場を通じて、県内量販店で試験的に販売。

○ 令和 4 年度 of 取組計画

- ・ 会報誌への資料掲載と取組に向けた P R。 (随時)
- ・ 県産野菜の量販店での販売促進。
 「行田在来えだまめ」「丸系八つ頭」について引き続き推進。
- ・ 県内の産地と市場との間で、契約取引等を推進するため情報交換会を開催。
- ・ 「べにたま」に対して関係機関と連携した取組を推進。
 令和 5 年度以降の本格的な栽培・販売に向け、関係機関と連携して計画的に販売等の活動を進める。

【公益財団法人埼玉県学校給食会】

○ 令和3年度の取組

- ・ 学校給食への県産農産物導入の推進



埼玉県産にんじんしゅうまい



彩の国キャベツメンチカツ(Fe・Ca)

- ・ 関連団体と連携し、児童生徒向けに埼玉県産農産物ポスター「大豆のコトをもっと知ろう!!」を作成



- ・ 生きる力をはぐくむ食に関する指導モデル校等支援事業（19校（所））
- ・ 学校給食調理コンクール（栄養教諭、学校栄養職員対象 7月6日、21日）
- ・ 学校給食親子料理教室（12月25日）家庭で役立つ料理教室



親子で楽しいパン作り



ケーキデコレーション体験

- ・ 11月の彩の国ふるさと学校給食月間に「彩の国学校給食研究大会」を開催（11月2日）
 - ・ 学校給食調理講習会は中止となったが、レシピ集や調理動画を作成しホームページに掲載
- ※令和3年度についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした事業がありました。
（今までの応募献立作品の中から、特に印象に残る献立をカード形式にしてホームページに掲載）

○ 令和4年度の取組計画

実施時期	実施内容・対象・回数等	実施会場・場所
4月13、15、19、20日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食への県産農産物導入の推進及び、県産農産物利用食材の開発を行う。 ・関係団体と連携し、県内全児童・生徒を対象に県産農産物の給食への利用状況及び生産状況を紹介するリーフレットを作成し、地域農業・県産農産物への理解を深め地産地消と食育の促進を図る。 ・生きる力をはぐくむ食に関する指導モデル校等支援事業を行う。(19校(所)) ・業務説明会(本会の事業説明及び取扱食材の紹介)中止 	学校給食会
6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における食育推進教材活用研修会(栄養教諭、学校栄養職員対象)食に関する指導用教材を活用した研修会 	学校給食会
7月5、22日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食調理コンクール(栄養教諭、学校栄養職員、調理従事者対象) 	学校給食会
7月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・親子産地見学会 農畜産物の生産や加工、流通等について理解を深めるため、親子による産地見学会中止 ・学校給食調理講習会(栄養教諭、学校栄養職員対象) 	学校給食会
8月10日、	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食調理講習会(栄養教諭、学校栄養職員対象)食事内容を魅力的かつ豊かなものとする 	学校給食会
10月7日 8月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食親子料理教室 食育を支援するため親子を対象とした家庭で役立つ講習会 	学校給食会
10月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・親子体験教室 学校給食用のパンについて理解を深めるため、親子によるパン作り体験教室を開催 	指定パン工場
11月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・彩の国学校給食研究大会 彩の国ふるさと学校給食月間にあわせ、学校給食調理コンクールの表彰も行う 	さいたま市文化センター
11月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食教室 学校給食の重要性やあり方及び学校給食用食材について、保護者のより一層の理解を図るため開催 	学校給食会

【一般社団法人埼玉県商工会議所連合会】

○ 令和3年度の取組

会議所名	名称	取り組み内容	実施時期
さいたま	ついたちまんじゅう	ついたちまんじゅうの会会員店舗全店のついたちまんじゅう集合販売 ①浦和駅改札出口向かい販売特設ブース ②そごう大宮店、高島屋大宮店	①7月1日 11月1日 ②毎月1日 (1月を除く)
		各種関係団体によるイベントでのPR活動	通年
秩父	小昼飯（こぢゅうはん）プロジェクト	秩父の和点心「小昼飯（こぢゅうはん）プロジェクト」を継続・推進する。	通年
深谷	ふかやカレーやきそば	・専用WEBサイトやパンフレット、会報誌等でのPR ・深谷市産業祭（11月）、各種関係団体主催イベント等への出店PR活動	通年 中止
	渋沢栄一翁関連事業	・渋沢栄一翁関連商品のチラシ等による販売促進活動 ・事業所の開発した新商品・サービス等の販売促進 ・深谷商工会議所オリジナルロゴマークの活用促進 ・渋沢栄一翁が好んで食べた「煮ほうとう」のPR活動	通年
	地域資源情報サイト「FUKAYA-BRAND」	地域資源活用商品の開発を支援し、開発後の商品・サービス等を専用サイトに掲載することで販売促進活動を行い、販路拡大に繋げる	通年

○ 令和4年度の取組計画

会議所名	名称	取り組み内容	実施時期
さいたま	ついたちまんじゅうの会	ついたちまんじゅうの会会員店舗全店のついたちまんじゅう集合販売 ①浦和駅改札出口向かい販売特設ブース ②そごう大宮店、高島屋大宮店	①7月1日 11月1日 ②毎月1日 (1月を除く)
		・各種関係団体によるイベントでのPR活動 ・「埼玉の小麦」をテーマとしたイベントを企画・参加	通年
秩父	小昼飯（こぢゅうはん）プロジェクト	秩父の和点心「小昼飯（こぢゅうはん）プロジェクト」を継続・推進する。	通年

深谷	ふかやカレーやきそば	<ul style="list-style-type: none"> ・専用 WEB サイトやパンフレット、会報誌等での P R ・深谷市産業祭、各種関係団体主催イベント等への出店 P R 活動 ・深谷市の魅力等を発信する総合施設「深谷テラスパーク（2022 年 5 月オープン）」での P R 	<p>通年</p> <p>深谷市産業祭（11 月）</p> <p>施設との時期調整により</p>
	渋沢栄一翁及び畠山重忠公関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・渋沢栄一翁及び畠山重忠公関連商品を紹介した専用サイトの作成・運営による販売促進 ・深谷商工会議所オリジナルの渋沢栄一翁ロゴマークの活用促進（新商品開発支援含む） ・渋沢栄一翁が好んで食べた深谷市郷土料理「煮ほうとう」の P R 活動 ・深谷市の魅力等を発信する総合施設「深谷テラスパーク（2022 年 5 月オープン）」での P R 	<p>作成予定 10 月～以降通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>施設との時期調整により</p>
	地域資源情報サイト「FUKAYA-BRAND」	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源活用商品の開発を支援し、開発後の商品 ・サービス等を専用サイトに掲載することで販売促進活動を行い、販路拡大に繋げる 	通年
草加	U-TaaaN PROJECT	野生動物（主にシカ）の原皮を受入れ、鞣（なめ）し加工を請け負う事業。原皮の産地の要望によって革素材だけでなく、デザインを一緒に考え、小物、バッグなど製品にして還元。与。埼玉県内では西秩父のシカの皮を受け入れた。	実施中
	草加版コミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）事業	フードロス対策と生活困窮家庭支援を結び付け、事業系の食品ロスを積極的に活用し、事業者の廃棄コストから運営費を負担する社会解決型自走式食品支援モデルを展開。青果、生鮮品も含め、地域内の新たな食品流通経路を開拓・定着を目指す（広義の地産地消モデル。）。	令和 4 年 6 月～

【埼玉県商工会連合会】

○ 令和3年度の取組

- ・ 商工会や商工業者による県内農産物を活用した特産品開発や販路開拓の支援
- ・ 商工祭・産業祭等における地域特産品の販売促進
- ・ 会報「彩の国商工会だより」で地域の取り組みを随時PR
- ・ 池袋サンシャインシティで開催された全国物産展において、特産品開発業者の出展を支援
- ・ 国、県の補助金事業に関する情報提供と申請支援

○ 令和4年度の取組計画

- ・ 商工会や商工業者による県内農産物を活用した特産品開発や販路開拓の支援
- ・ 商工祭・産業祭等における地域特産品の販売促進
- ・ 会報「彩の国商工会だより」で地域の取り組みを随時PR
- ・ 池袋サンシャインシティで開催された全国物産展において、特産品開発業者の出展を支援
- ・ 国、県の補助金事業に関する情報提供と申請支援

【一般社団法人埼玉県食品衛生協会】

○ 令和3年度の取組

- ・ 食中毒予防の啓発
夏季の食中毒予防月間、冬季のノロウイルス食中毒予防強化期間を中心に、食中毒予防キャンペーンや衛生講習会を開催し、啓発物の配布や手洗いチェッカーによる指導を行った。
- ・ 食品衛生に関する各種講習会の開催
食品衛生責任者資格者養成講習会を浦和と東松山会場において 93 回開催するとともに、新型コロナウイルス感染症対策としてインターネット利用による eラーニングを導入し、8,900 名の食品衛生責任者を養成した。また、HACCP 導入講習会を 15 回開催し、衛生管理計画の作成と記録方法の習得を促した。
- ・ 食品衛生指導員による施設の巡回指導
食品衛生指導員 506 名が食品営業施設を巡回し、自主管理の徹底、ノロウイルスの注意喚起、HACCP による衛生管理等を指導した。
- ・ 自主検査の推進
食品営業者の自主衛生管理を推進するため、腸内細菌検査 165,467 件、食品の細菌・化学検査 15,845 件を実施した。

○ 令和4年度の取組計画

昨年度と同様の事業を行うほか、特に食品営業者の HACCP による衛生管理を推進していく。